

澤

翁おきなにぞ蚊か屋やつり草くさを習なら

ひける

北枝ほくし

## 蚊帳吊草

北枝編『卯辰集』（元禄四）所収。「野田の山もとを伴ひありきて」と前書。野田は、金沢の南にある山。北枝は『おくのほそ道』の旅の途次、金沢に滞在していた芭蕉とともに、このあたりを散策した。その際、蚊帳吊草の名を教えられた感激を一句にまとめている。蚊帳のかたちにする草遊びも習ったのかもしれない。芭蕉と北枝とが、童のごとく草遊びを楽しんでいるのが見えてくる。【蚊帳吊草・夏】

慶  
祝

相子智恵句集『呼応』（左右社）が、  
第十三回田中裕明賞を受賞いたしました。

# 澤

古今の俳諧俳句に本体を温ね  
東西の詩文学芸に本質を照らす  
只管に詠い真摯に読み  
闊達なる一座を建立せん

令和4年6月号  
通巻第267号

澤 6 月号 目次

澤通信句会のお知らせ……………4

小澤 實 草餅と五鈴鏡 十五句……………8

高橋睦郎 季語練習帖 第一五〇回……………10

潺潺集 小澤 實選……………12

雑刀 片岡昌子

焼蚕豆 長谷川照子

半眼 服部つぐみ

春炬燵 結城あき

緑 金澤諒和

ゲルニカ 汕としこ

命日 佐藤晃市

呉れ好き 竹内茂子

飛行船 栗生

澤俳句鑑賞 265  
福田若之……………18

森下秋露……………20

窓

俳書を読む

岩岡中正『文事』／寺町志津子『春は曙』／大河原真青『無音の火』／鈴木玲子『桜狩』／佐藤智子『ぜんぶ残して湖へ』 木内縉太……………22

詩文学芸書を読む

雪 朱里『書体』が生まれる ベントンと三省堂がひらいた文字デザイン』 根岸哲也……………24

総合誌俳句鑑賞

「俳句」「俳句界」「俳壇」「俳句四季」各四月号  
今朝……………26

俳句結社誌を読む

「かつらぎ」 令和四年一月号 梶等太郎……………28

令和四年度新同人発表……………30

俳句を豊かにするもの

俳句を始めて想うこと ロフト……………31

通信句会の秀句 村越 敦……………32

潺潺集巻頭作家インタビュー 篠崎弥生……………34

澤集巻頭作家インタビュー 平嶋さやか……………35

同人代表句 秋山 紅／菱田嘉春……………36

同人一句鑑賞 内野永子／田中加代……………37

澤衍……………38

澤四十句 小澤 實選……………40

選後独言 白鳥との間の通路 小澤 實……………42

澤集 小澤 實選……………44

吉川千早／吉村たまみ／松川みゆき／井上雅恵／牧原奈緒  
美／茂木妙子／楠えり子／山岸樵鹿／千葉典子／大室ゆら  
ぎ／吉田邦幸／赤岩 覺／石田秀子

新入会員……………77

消息……………78  
5月号発送報告／

「俳句を豊かにするもの」原稿募集のお知らせ……………79

定例句会のご案内……………80

澤俳句叢書一覽……………81

雑誌「澤」購読のご案内／購読料更新のお知らせ／

澤基金募集のお願い……………82

澤基金応募者芳名／投句のご案内……………83

澤句会・カルチャー一覽……………84

広告……………85  
後記……………90

デザイン 玉井一平

澤  
令和4年6月1日発行  
澤 俳句会  
頒価 1,200円

表紙／小澤  
實著『秀句三五〇選友』より